

第1号議案 令和4年度事業報告

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大がなかなか静まらないとはいえ、日常的感染症対策が広く行き渡るようになり、またワクチン接種も進んだことから、市民交流館やまゆりの運営を少しずつコロナ禍前に戻す工夫を重ね、開催を見送らざるを得なかった事業・イベントの多くを年度下期に復活させることができました。

コロナ禍で利用率が低迷する中での積極策となり、思うに任せない部分もありましたが、新年度へ向けての新たなスタートラインを引くことが出来たと考えております。

I. 特定非営利活動に関わる事業

1 交流促進事業

(1) 自主企画事業

① 区民講師公開講座

- イ) 4月2日から8月28日まで20講座(講師20人)を予定しましたが、コロナ禍を理由に講師1名が中止を申し出られたため、19講座、講師19名での開講となりました。なお、定員は最大30名としました。
- ロ) 2023年度開催の講座の講師募集を予定通り行い、9人の応募がありました。2023年4月から6月まで毎月3講座、合計9講座を開催する予定です。定員は最大40名とすることになりました。

② ワード・エクセル塾

7月から12月まで全6回、例年通り恩田講師を招き予定通り開講され、延べ133名の受講者(公募の受講者のみ、あさおPC楽会会員を除く)がありました。大変人気のある講座として定着しています。

③ やまゆり楽芸会

3年振りの総力をあげての開催となり、出演者は20団体125名、来館者も座席制限がある中80名を数える大盛況のイベントとなりました。団体ごとの出演時間が短くならざるを得ず、客席数も少ないなど不満の残る面もありましたが、多くの方々に楽しんでもらえたものと自負しております。

④ アートフェスタやまゆり

従来のやまゆりクラフト展を衣替えしての開催。10団体・個人から小物を除き約50点の参加作品が集まりました。一般の来館者は114名を数えました。来館者からも出品者からも概ね好感をもって迎えられたと思います。次回以降、作品の募集をどのように実施するかが課題です。

⑤ 新春やまゆり寄席

初音家左橋師匠、南亭ハツ太(飯田保幸)さん、三原橋ぼん太さんを迎え、定員を30名に絞っての3年ぶりの開催に漕ぎつけました。定員減のためチケット料金を300円値上げしての販売となりましたが、チケットは完売。

十分に手ごたえを感じられるイベントの復活となりました。

⑥ PC 初級講座

当 NPO 法人内部の研修企画で、運営スタッフから希望者 10 名を募って開催しました。講師はあさお PC 楽会からベテラン 3 名にお願いしたものです。初歩の初歩として OS の扱い方を講義。次回は、やまゆりの PC が Windows11 に入れ替えられてから検討を予定します。

(2) 市民交流館やまゆりの運営と貸室事業・印刷機事業

① 市民交流館やまゆりの会議室等の利用実績について

新型コロナウイルス感染症が長期にわたり拡大を繰り返したことに伴う市民活動団体の活力低下や、当館の利用上の制約が災いして、利用実績が期待するほどには伸びず、特に平日夜間の利用が伸び悩んでいます。

印刷機事業に関しては他に安価なネット注文型印刷がコロナ禍で急速に台頭してきたことも利用が伸びない一因と推測しています。

実績数値は以下の通りでした。

年度	会議室 (回数)			印刷 (枚数)		利用者数 (人数)	利用登録 (団体数)
	平日	(夜間)	土日・祝	製版	印刷		
令和4年	763	201	415	2,336	312,954	12,086	707
令和3年	629	104	334	2,025	300,120	8,132	707
令和2年	616	155	145	1,170	153,846	5,316	749
令和元年	1,223	408	458	3,683	539,362	19,348	671
平成30	1,328	442	502	4,126	652,608	20,270	636
29	1,291	397	501	4,613	730,577	20,400	659
28	1,222	359	456	5,357	760,851	22,347	667
27	1,254	379	458	5,639	865,167	21,963	647
26	1,223	372	463	5,967	918,786	23,250	619
25	1,089	236	397	6,908	1,014,658	22,125	596
24	1,016	181	340	5,405	945,540	21,309	576
23	1,022	158	359	5,212	952,152	20,813	542
22	946	149	336	5,074	930,486	20,185	510
21	935	96	316	5,299	964,275	18,897	466
20	874	118	149	5,212	802,303	16,821	421

② 組織の機能強化に関連する事項

イ) 例年通り 9 月に運営スタッフの募集を実施しました。男性 5 名、女性 4 名、合計 9 名の応募があり、男性 3 名、女性 2 名、合計 5 名を採用し、既に運営スタッフ業務に就いてもらいました。

ロ) 運営スタッフミーティングを予定通り年 4 回開催し、運営実務のアップデートを図りました。なお定員の制約を受けたために二部制で開催していたスタッフミーティングは、新年度から一部制に復帰します。

ハ) 運営スタッフ用の業務マニュアルの改訂作業を実施。記載内容の更新

とわかりやすさを目指した記述を目指します。なおこの作業に付随して業務に関連する一部書式も変更予定です。

- 二) 理事用 PC のデータバックアップ用に SSD を配置しました。
- ホ) 経理業務の一部、活動費の清算などに Excel を活用して合理化を図りました。
- へ) イベントの再開に伴いやまゆりテックが活動を再開しましたが、コロナ禍によるブランクの影響は否めず、スタッフの高齢化も手伝って、機器の不具合や練度の低下がみられました。しかし新しいスタッフ 2 名を得て、研修会を開催し、技術の継承に務めています。また制作した映像ライブラリーの利用・活用法を検討中です。
- ト) 絵画等の展示用にピクチャーレールを会議室に追加設置しました。アート・フェスタやまゆりの開催に併せて増強したものです。
- チ) 運営スタッフを退いた方々の交流・活動の場の拡大については、新型コロナウイルス感染症が続いている環境下、積極的な展開を図ることができませんでした。

(3) コミュニティー事業

やまゆりのサーバーを利用してホームページの運用をしている団体は昨年度 28 団体でしたが、高齢化や会員が集まらないなどの理由から 2 団体がホームページを閉鎖し退会しました。

なおホームページ運用に関する問い合わせが新たな団体から数件あり、都度対応をしました。

2 市民活動推進事業

(1) 受託事業 (川崎市委託事業)

① 「目指せ！アクティブ・シニア講座」

1 月 14 日から 2 月 11 日までの毎週土曜日全 5 回開催。企画委員は 3 名。受講生は 13 名でした。今年度は講座卒業生 4 名を招きパネルディスカッションを開催して好評を博し、受講生 9 名が新たな交流会を結成することになりました。

② 「市民活動団体発表会」

2 月 12 日 13 時から 16 時まで、麻生市民交流館やまゆりにて学び・健康づくり・仲間づくり・ボランティア活動などの市民活動 6 団体の発表会を開催しました。参加団体は「麻生シンガーズアンリミテッド」「恵成会」「しんゆりスケッチの会」「フルーツアンサンブル (長息き)」「麻生区クールアース推進委員会」「川崎和らぎ委員会」でした。各発表はやまゆりテックにより映像収録され、後日麻生市民交流館やまゆりのサロンに設置されたモニターで上映予定です。

③ 「ビバ！あさおの子どもたち」

2月19日に開催された「カフェ・グランデあさお」に参加する形で実施。

「ビバ！あさおの子どもたち」からはワークショップ形式の「あさお和風の会」と「おもちゃと遊びの会」が参加となりました。多くのこどもたちが来場し、想定以上に賑やかな一日となりました。

④ 市民活動相談窓口の運営に関する事項

市民活動相談窓口の運営に関する事項は次の通りです。

イ) 市民活動団体検索サイトの登録情報の維持・管理を、麻生市民館、麻生区社会福祉協議会と共同で実施。

ロ) 相談窓口として9名の相談員が担当し、活動団体、活動の場や人材の紹介を継続的に実施。

⑤ 広報活動に関する事項

イ) やまゆりニュース発行

6月、10月、2月に各800部を発行しました。コロナ禍で中止になっていた町内会配布（回覧）が再開となり、10月号から増刷しました。（+3,600部）

ロ) あさおふれんず発行

8月、12月、4月に各800部発行しました。

ハ) MYTOWN紙（やまゆりの窓）に記事掲載

受託事業関係の記事を6回掲載しました。他にスタッフ募集や自主企画事業関係の記事を6回掲載しています。

⑥ 「まちのひろば」ホームページの維持管理に関する事項

コロナ禍で、登録されている場所や活動にも少なからぬ変動があるという実態を掴むため、ホームページ掲載の場所や団体の活動などを再調査することになり、今年度では、①掲載基準を満たさないものを削除、②再調査が必要と思われる場所や活動の仕分け、③冊子「まちのひろば」に掲載されているものからホームページ未掲載のもの掲載などを実施し、ホームページの更新を図りました。

(2) 麻生区地域コミュニティー活動支援事業

① 2022年2月に募集し、支援が決定した団体は「あさお和風の会」「こどもしんぶん部」「わ・わ・わ・クラブ」「音楽ユニット Pentas」「岡上アグリ・リゾート」「アートロジ麻生」の6団体で、2022年4月末までに助成金支給済みです。

② 引き続き2023年2月に新たな募集を行い、「アートロジ麻生」「かたひらほっとカフェ」「Vege & ArtFes 実行委員会」「かわさきミュージックチャレンジ」「チーム『フランポネ』」の応募がありました。4月中に審査を経て支援団体を決定し助成金を支給予定です。助成額は一団体当たり10万円が

限度となります。

その他の事業

3 自動販売機事業

自動販売機事業については「活動計算書」の説明をもって報告にかえさせていただきます。

4 会員交流事業

- (1) 「納涼祭」についてはコロナ禍のため開催を見送りました。(飲食を伴うため)
- (2) 「会員の集い」に関しては、1月15日(日)にDVDによるドキュメンタリー映像「荒野に希望の灯をともし」を当館にて上映。会員の熱い共感とともに好評を得ることができました。

以上